

2021年8月16日

各位

会社名 株式会社ハウスドゥ
 代表者名 代表取締役社長 CEO 安藤 正弘
 (コード: 3457 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 CFO 富田 数明
 (TEL. 03-5220-7230)

業績予想と実績値の差異及び配当修正に関するお知らせ

当社は、2020年8月12日に公表いたしました2021年6月期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、未定としておりました2021年6月期の配当予想を下記の通り決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績値の差異について

(1) 2021年6月期連結業績予想と実績値の差異 (2020年7月1日～2021年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,976 ～37,532	2,713 ～3,512	2,500 ～3,300	1,650 ～2,178	84.68 ～111.75
実績 (B)	39,037	2,589	2,514	1,616	82.87
増減額 (B-A)	1,505 ～5,061	△923 ～△124	△786 ～13	△561 ～△33	
増減率 (%)	4.0 ～14.9	△26.3 ～△4.6	△23.8 ～0.5	△25.8 ～△2.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年6月期)	32,878	1,893	1,716	1,030	52.94

(2) 差異の理由

当社グループは、2022年度6月期を最終年度とする中期経営計画において、成長強化学業であるフランチャイズ事業、ハウス・リースバック事業、金融事業を中心に、人材・広告等への投資は継続しつつ、これまでに培った基盤を活かした持続的成長モデルの構築と業績の拡大に努めております。

当期は、前期から続く新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、先行き景気に不透明感が残る状況が続きましたが、不動産業界におきましては、外出自粛による住宅への関心の高まりや日銀の金融緩和政策継続を背景に、実需は底堅く推移しました。このような経営環境のもと、当社グループでは、成長強化学業の安定した収益に加え、前期にコロナ禍の影響を受けたリフォーム事業等も回復を見せ、とりわけ感染症拡大時期においても仕入れを継続し、充実した商品在庫の販売が好調に進んだ不動産売買事業が業績を押し上げ

たことにより、売上高は当初業績予想のレンジの上限値を上回り、また、経常利益はレンジ内での結果となりました。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年8月12日発表)		—	—
今回修正予想		30円00銭	30円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2020年6月期)	0円00銭	19円00銭	19円00銭

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識しており、持続的な成長と企業価値向上の為、財務体質の強化と事業拡大の為の内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続的な配当を実施して行くことを配当政策の基本方針としております。

2021年6月期につきましては、配当予想を未定としておりましたが、当該方針及び経営環境や業績の見通しなどを勘案し、期末配当金を1株当たり30円00銭とさせていただきます。

なお、本件につきましては、2021年9月28日に開催予定の第13期定時株主総会に付議する予定であります。

<本件に関する問い合わせ先>

経営戦略本部 経営企画部 広報・IR 03-5220-7230

以上